

会 告

社団法人 土 木 学 会

行事案内	月 日	行 事 名	場 所	備 考
本 部	5月17日(火)	コンクリート標準示方書改訂主旨説明会	東 京	5号2ページ参照
	5月26日(金)	第53回通常総会	広 島 市	3号8 "
	5月27日(土)	総合講演会	同	3号8 "
	5月27日(土) ～28日(日)	学術講演会	同	3号11 "
	5月27日(土)	懇 親 会	同	3号8 "
	5月29日(月) ～30日(火)	見 学 会	中四地区	3号9 "
	6月16日(金)	コンクリート標準示方書改訂主旨説明会	大 阪 市	5号2 "
	6月24日(土)	同	福 岡 市	5号2 "
	7月21日(金)	同	札 幌 市	5号3 "
	7月26日(水) ～29日(土)	水工学に関する夏期研修会	名 古 屋 市	5号5 "
	7月31日(月) 8月3日(木)	} 同	同	5号5 "
	8月3日(木) ～4日(金)		夏期講習会	東 京
中 部 支 部	6月14日(水) ～15日(木)	講習会「水理学・水文学における最近の 進歩」	名 古 屋 市	5号8 "
関 西 支 部	5月25日(木) ～26日(金)	第1回見学会	福 井 県	4号8 "
	6月27日(火) ～28日(木)	土木工学における動的現象の計測とデー タ処理に関する講習会	大 阪 市	5号9 "
	6月27日(火)	会員懇親パーティー	同	5号9 "
そ の 他	5月18日(木)	アルミナセメント討論会	土 木 学 会	5号8 "
	6月7日(水) ～8日(木)	第5回接着研究発表会	東 京	5号7 "
	7月18日(火) ～21日(金)	金属の物理的性質講習会	同	4号8 "
お知らせ	■第11回材料研究連合講演会講演募集			4号6 "
	■第8回日本アイソトープ会議論文募集			4号9 "
	■第9回地震工学研究発表会講演募集			5号5 "
	■第14回海岸工学講演会講演募集			5号6 "
	■第4回衛生工学研究討論会論文提出募集			5号6 "
	■第2回岩の力学国内シンポジウム論文募集			5号7 "
	■国際会議のお知らせ			5号10 "
	■国際水工学・衛生工学コース			5号10 "
■第16回レオロジー討論会講演申込み			5号102 "	

第 53 回通常総会招集のお知らせ

第 53 回通常総会を下記によって招集いたします。

多数ご出席をお願いいたします。なお、ご欠席の場合は本誌3月号添付“はがき”によって委任状をご送付下さるよう、お願いいたします。

記

日 時：昭和 42 年 5 月 26 日(金) 14 時より

場 所：広島銀行本店会議室(広島市紙屋町 1-3-8)

会議に付議すべき事項：

- 1) 昭和 41 年度事業報告
- 2) 昭和 41 年度決算報告
- 3) 名誉会員の推挙

コンクリート標準示方書改訂にともなう行事のお知らせ

コンクリート委員会ではかねてからコンクリート標準示方書を改訂すべく鋭意努力を重ねて参りましたが、このたび、本文、解説を含めて審議を終了し、只今印刷中であります。これらの現在の出版予定は、示方書が5月初旬、解説が7月下旬となっておりますが、これにともなう行事を下記により行ない示方書の健全な普及を図りたいと存じますので関係方面の研究者、技術者多数の参加をおすすめいたします。

◀ コンクリート標準示方書改訂主旨説明会

コンクリート標準示方書本文のみを教材として下記によりこのたびの改訂の主旨説明会を開催いたします。この説明会は従来のこの種企画と異にし下記のとおり各地区で開催いたしますので、参加ご希望の方は、一番ご便宜な地区をご選定になり参加されるようご案内いたします。なお、いずれの地区も定員がありますのでなるべくお早めにお申込み下さい。

A 関東地区

- (1) 期 日：1967年5月17日(水)
- (2) 場 所：大和証券ホール(東京都千代田区大手町2の8・大和証券ビル8階)
国電東京駅八重州北口下車徒歩3分・都電具服橋停留所前
- (3) 参加費：会員 1000円、非会員 1500円
- (4) テキスト：コンクリート標準示方書(希望者のみ当日会場で実費頒布(定価1000円・会員特価800円)いたします)
- (5) 申込方法：下記Eの申込書の形式で5月10日までに土木学会事業課あて参加費を添えてお申込み下さい。
- (6) プログラム：10.30~11.00 (1) コンクリート標準示方書の改訂にあたって 東 大 国 分 正 胤
11.00~12.00 (2) 無筋コンクリート標準示方書の改訂 国鉄技研 樋 口 芳 朗
13.00~14.00 (3) 鉄筋コンクリート標準示方書の改訂 交通技術 河 野 通 彦
14.00~14.30 (4) ダムコンクリート標準示方書の改訂 電力中研 関 慎 吾
14.30~15.00 (5) コンクリート舗装標準示方書の改訂 建 土 研 伊 東 茂 富

B 関西地区(関西支部共催)

- (1) 期 日：6月16日(金)
- (2) 場 所：大阪科学技術センター 8階大ホール(大阪市西区靱1丁目118)
- (3) 参加費：関東地区と同額
- (4) テキスト：関東地区と同じ
- (5) 申込方法：下記Eの申込書の形式で5月末日までに土木学会事業課あて参加費を添えてお申込み下さい。
- (5) プログラム：(1) コンクリート標準示方書の改訂にあたって 京 大 岡 田 清
(2) 無筋コンクリート標準示方書の改訂 阪 市 大 水 野 俊 一
(3) 鉄筋コンクリート標準示方書の改訂 京 大 小 柳 治
(4) ダムコンクリート標準示方書の改訂 (未 定)
(5) コンクリート舗装標準示方書の改訂 (未 定)

C 西部地区(西部支部共催)

- (1) 期 日：6月24日(土)
- (2) 場 所：町村会館ホール(福岡市天神町)
- (3) 参加費：関東地区と同額
- (4) テキスト：関東地区と同じ
- (5) 申込方法：下記Eの申込書の形式で6月15日までに土木学会事業課あて参加費を添えてお申込み下さい。
- (6) プログラム：(1) コンクリート標準示方書の改訂にあたって 九 大 水 野 高 明
(2) 無筋コンクリート標準示方書の改訂 徳 島 大 荒 木 謙 一
(3) 鉄筋コンクリート標準示方書の改訂 (未 定)
(4) ダムコンクリート標準示方書の改訂 九 大 徳 光 善 治
(5) コンクリート舗装標準示方書の改訂 山 口 大 加 賀 美 一 二 三

D 北海道地区（北海道支部共催）

- (1) 期 日：7月21日（金）
- (2) 場 所：日本生命ビル8階（札幌市北三条西4丁目）
- (3) 参加費：関東地区と同額
- (4) テキスト：関東地区と同じ
- (5) 申込方法：下記Eの申込書の形式で7月5日までに土木学会事業課あて参加費を添えてお申込み下さい。
- (6) プログラム：

(1) コンクリート標準示方書の改訂にあたって	北大	横道	英雄
(2) 無筋コンクリート標準示方書の改訂	開発局	林	正道
(3) 鉄筋コンクリート標準示方書の改訂	北大	藤田	嘉夫
(4) ダムコンクリート標準示方書の改訂			（未定）
(5) コンクリート舗装標準示方書の改訂			（未定）

E 参加申込用紙の形式

下記形式の申込書に所要事項をお書込みのうえ参加費をそえてお申込み下さい。

コンクリート標準示方書改訂主旨説明会参加申込書	
参加者名	
勤務先	
連絡先	
参加地区	関東地区 関西地区 西部地区 北海道地区
参加費	1,000円 1,500円 を現金書留で同封のうえ送る。または他の方法
テキスト 示方書	要 不 要
参加地区送金方法、テキストの要、不要を御明記のうえ締切期日までにお申込み下さい。	

第53回通常総会および第22回年次学術講演会

昭和42年度通常総会および年次学術講演会は、5月26日（金）～5月28日（日）にかけて広島市において開催されます。従来4月末に別途発送しておりましたプログラムは本誌3月号に綴込みましたのでご参照下さい。総会、懇親会、見学会、講演概要などの申込み方法、その他詳細は3月号7～23ページをご覧ください。

○土木学会第22回年次学術講演会実施要領

- ① 研究発表には、各部門ともできる限り、一般報告の方式を採用し、やむを得ない場合に限り著者自らによる個人発表の方式を採用する。
- ② 一般報告の方式は、同じ種別の論文数編ずつを、学会で委嘱した一般報告者が総括して報告し、その後で質疑討論を行なう。この場合の応答には、各著者が自らこれに当り、場合により著者の補足説明を認められる。
- ③ 講演概要の記述にあたっては、一般報告者が、その概要にもとづいて報告することを予想し、必ずそれぞれの研究の考え方と結論をわかりやすく書くこと。
- ④ 個人発表の方式では、1人当りの講演時間を10分（交代時間を含む）として、討議はこの時間のわくの中で行なうものとする。

昭和 42 年度土木学会夏期講習会開催について

コンクリート標準示方書および同解説を中心に、人工軽量骨材コンクリート設計施工指針（案）、プレパックドコンクリート施工指針（案）、鉄筋コンクリート工場製品設計施工指針（案）、等を含め、このたびの改訂あるいは制定にご努力いただいた委員長、主査、幹事の方々により、下記のとおり夏期講習会を開催いたしますのでふるってご参加下さるようご案内申し上げます。なお、タイムスケジュールおよび主題につきましては、現在検討中でございますので、若干変更があるかも知れませんことを申添えます。

1. 期 日：1967 年 8 月 3 日（木）、4 日（金）の 2 日間
2. 場 所：厚生年金会館大ホール（東京都新宿区番衆町 19）
3. 参 加 費：会員 1 500 円 非会員 2 000 円（テキスト代を含まず）
4. テキスト：(1) コンクリート標準示方書
(2) コンクリート標準示方書解説
(3) 人工軽量骨材コンクリート設計施工指針（案）
(4) プレパックドコンクリート施工指針（案）
(5) 鉄筋コンクリート工場製品設計施工指針（案）

5. プログラム：（予 定）

第 1 日（8 月 4 日）

9.30～9.40	開 会 挨拶	土木学会会長
9.40～10.10	(1) コンクリート標準示方書改訂にあたって	東 大 国 分 正 胤
10.20～12.10	(2) 無筋コンクリート標準示方書総論	国 鉄 技 研 樋 口 芳 朗
	(3) 無筋コンクリート標準示方書各論	日本セメント 山 崎 寛 司
13.00～15.50	(4) 鉄筋コンクリート標準示方書総論	交 通 技 術 河 野 通 之
	(5) 鉄筋コンクリート標準示方書各論（1）	東 大 松 本 嘉 司
	(6) 鉄筋コンクリート標準示方書各論（2）	国 鉄 構 設 尾 坂 芳 夫
16.00～16.50	(7) コンクリート舗装標準示方書総論、各論	建 土 研 伊 東 茂 富

第 2 日（8 月 4 日）

9.30～11.20	(8) ダムコンクリート標準示方書総論	電 力 技 研 関 慎 吾
	(9) ダムコンクリート標準示方書各論	電 力 技 研 永 倉 正
11.30～12.20	(10) 人工軽量骨材コンクリート設計施工指針（案）	都 立 大 村 田 二 郎
13.30～14.20	(11) プレパックドコンクリート施工指針（案）	港 湾 技 研 赤 塚 雄 三
14.30～15.20	(12) 鉄筋コンクリート工場製品設計施工指針（案）	コンクリート 工 業 杉 木 六 郎
15.20～15.30	閉 会 挨拶	

6. 申 込 方 法：用紙は 6 月号に添付しますが、下記申込要領にしたがいお申込み下さい。

昭和 42 年度夏期講習会参加申込書		No. _____
参 加 者 名		
勤 務 先		
連 絡 先		
参 加 費	1 500 円（会 員） 2 000 円（非 会 員） を _____ により _____ 月 _____ 日に送付 した する	
テ キ ス ト （ご必要なものに○ 印を付けて下さい）	(1) コンクリート標準示方書 (2) コンクリート標準示方書解説 (3) 人工軽量骨材コンクリート設計施工指針（案） (4) プレパックドコンクリート施工指針（案） (5) 鉄筋コンクリート工場製品設計施工指針（案）	
注：1. 7 月 15 日までに参加費を付けて土木学会事業課宛お申込み下さい 2. テキストは当日会場にて実費配布いたしますので事前にご送金ならぬよう願います。 3. 満員の際はお断りすることがありますのでなるべく早目にお申込み下さい。 4. 受付は着金の順に行ないますのでご了承下さい。		

水工学に関する夏期研修会

◀ 7月26日(水)～29日(土) ▶
◀ 7月31日(月)～8月3日(木) ▶

水工学に関する夏期研修会も回を重ねて、第4回になりました。今年は、下記のとおり名古屋で開催いたします。申込み方法、題目などは下記のとおりですので、ふるってご参加下さい。

1. 開催期日：1967年7月26日(水)～8月3日(木)
2. 会 場：愛知県建設業会館（名古屋市中区栄3丁目28番21号）
3. 対 象：大学修了程度の方
4. 題目・講師および日程：（題目は多少変更することがあります）
（A）河川コース 7月26日(水)～29日(土)

日	時	9.00～12.00	13.00～17.00
7月26日(水)	受 付		水理学における数学的手法(1) 京都大学工学部 岩佐義朗
27日(木)	水理学における数学的手法(2)	京都大学工学部 岩佐義朗	流水の抵抗則 名古屋大学工学部 足立昭平
28日(金)	流出機構	京都大学工学部 高棹琢馬	内 水 名古屋大学工学部 西畑勇夫
29日(土)	水資源論	東京大学工学部 高橋 裕	特別講演 土砂災害とその対策 京都大学防災研究所 矢野勝正
			16.00～19.00 終了式、懇親会

（B）海岸・港湾コース 7月31日(月)～8月3日(木)

日	時	9.00～12.00	13.00～17.00
7月31日(月)	受 付		港湾計画論(1) 京都大学工学部 長尾義三
8月1日(火)	港湾計画論(2)	運輸省第五港湾建設局 久田安夫	波の変形 京都大学防災研究所 岩垣雄一
2日(水)	構造物に働く波力	運輸省港湾技術研究所 合田良実	海岸堤防論 (特に波の打上げ) 名古屋工業大学工学部 細井正延
3日(木)	漂 砂	大阪大学工学部 梶木 亨	特別講演 東京大学工学部 本間 仁
			16.00～19.00 終了式、懇親会

5. 定 員：河川コース 100名、海岸・港湾コース 100名
6. 参加費：1コースにつき3500円（ただしテキスト代を含みます）
7. 申込方法：受講希望者は、勤務先、氏名、連絡先、コース名（河川コースまたは海岸・港湾コース）を明記のうえ、参加費をそえてお申込み下さい。
8. 申 込 先：土木学会事業課（東京都新宿区四谷1丁目・電話 東京 351-5139）
9. 申込期限：7月10日(月)

第9回地震工学研究発表会講演募集

◀ 10月25日(水)～26日(木) ▶

下記により第9回地震工学研究発表会を開催いたしますので、講演ご希望の方は、ふるってご応募下さい。

1. 期 日：1967年10月25日(水)～26日(木)
2. 会 場：土木学会土木図書館講堂
3. 募集規定：
 - (1) 講演内容：理論、実験、研究、耐震設計の実測、復旧工事、震害等
 - (2) 申込方法：7月15日(土)までに、題目、講演者氏名（連名の場合は登壇者に○印をつける）、勤務先を明記し、土木学会耐震工学委員会宛お申し込み下さい。
4. 講演概要原稿締切：8月25日(金)

講演内容がわかるように講演概要はオフセット印刷とします。原稿はなるべく研究の考え方を主とし、原稿の長さは1題目刷上り4ページ以内（図表、写真を含み6480字）とし、所定の原稿用紙にタイプまたはスミ書きにして下さい。講演の採否は、土木学会耐震工学委員会にご一任下さい。なお、講演時間は、15分～20分（質問時間を含まず）の予定です。
5. パネル討論：今回は特定なテーマを設けパネル討論を行いません。

第14回海岸工学講演会講演募集

第14回海岸工学講演会は下記により開催することになりましたので、講演ご希望の方はつぎの要領によりご応募下さい。

1. 開催時期：1967年10月
 2. 場 所：横浜市
 3. 講演申込締切：1967年6月20日（火）
 4. 講演原稿締切：1967年7月20日（木）
 5. 講演申込および原稿提出について：
 - ① 講演申込みの際は、講演題目、著者名（連名の場合には登壇者に○印をつける）、予定ページ数を記入してハガキで下記申込先へお申込み下さい。
 - ② 同一内容の講演を一緒に2つ以上提出すること、および同一著者が重複して登壇するものは受けません。
 - ③ 原稿一編の長さは原則として刷上り6ページ以内（400字詰原稿用紙30枚以内・図表・写真をふくむ）とします。
 - ④ 原稿の内容により6ページ以内に収録することが困難な場合は、著者の希望により10ページまでの超過を認めますが、この場合は著者に超過1ページにつき2000円負担していただくか、超過1ページあたり講演集2冊お買上げいただきます。
 - ⑤ 原稿には必ず超過希望の有無およびつぎの事項を記入して下さい（A：負担金、B：講演集購入）。
 - ⑥ 図面は必ずスミ入れ、説明文字は縮尺を考慮してできるだけレターリングでスミ入れを希望します。スミ入れが不可能の場合は鉛筆書きにして下さい。
 - ⑦ 講演者には掲載論文の別刷50部を無料で差し上げます。それ以上ご希望の方は実費をいただきますから、あらかじめ希望部数を原稿にお書き入れ下さい。ただし講演集はご購入下さい。
 - ⑧ 著者校正ご希望の方はその旨明記して下さい。
 - ⑨ 今回より Coastal Engineering in Japan に掲載ご希望の方は英文題目、著者名、予定ページ数を明記の上お申出下さい。なお、同英文論文集に掲載する場合は掲載料（刷上り1ページ当り1000円）をいただきます。
 - ⑩ 講演および英文論文集への掲載の採否については海岸工学委員会にご一任下さい。
 6. 申 込 先：東京都新宿区四谷1丁目 土木学会海岸工学委員会
- ◎開催期日、その他の詳細については決定次第追ってご案内いたします。

第4回衛生工学研究討論会論文提出募集について

土木学会衛生工学委員会では毎年一定のテーマを決めて討論会を開催し好評を博しておりますが、本年は北海道大学衛生工学科10周年を記念し、下記により第4回衛生工学研究討論会を開催いたします。論文提出希望者はふるってご応募下さい。

1. 主 催：土木学会衛生工学委員会
2. 期 日：1967年8月下旬または9月上旬（1ないし2日間）
3. 会 場：北海道大学（予定）
4. 論文内容：1）わが国における衛生工学のあり方
2）公害問題
3）その他（今年度は上記課題の他に自由課題を含む）
5. 申込方法：6月15日までにB5判用紙に論文題目、研究者氏名（共同研究の場合は講演者に○印を付けて下さい）、勤務先連絡先を明記し、講演概要（800字程度）を付して、土木学会衛生工学委員会宛お申込み下さい。
5. 採 否：論文の採否は衛生工学委員会にご一任下さい。
なお、採用決定のうちは改めて講演原稿の提出方をお願いします。

第2回岩の力学国内シンポジウム(1967)開催と論文の募集

岩の力学国内シンポジウムは1964年に第1回を開催し、所期の成果をあげることができましたが、その後岩盤力学は活発な発展を示し、昨年9月にはリスボンにおいて第1回国際岩盤力学会議が開催され、わが国からも多数の関係者が出席されました。このような機に第2回シンポジウムを開催し、国内の岩盤力学研究者、技術者の研鑽と交流および研究情報交換の場に致したいと存じますから、会員各位には下記規定ご参照のうえふるってご応募下さい。

なお、土木学会において毎年開催しております岩盤力学に関するシンポジウムは1967年は開催いたしませんことを申添えます。

共 催：土木学会・日本鉱業会・土質工学会・日本材料学会

(1) 開催期日および会場

期 日：1967年11月28日(火)、29日(水)の2日間

会 場：大和証券ホール(東京都千代田区大手町2の8 大和証券ビル8階) 国電東京駅八重洲北口下車 徒歩3分

(2) シンポジウムの形式と論文の取り扱い

本シンポジウムでは、つぎの日程により課題論文ならびに自由論文の発表を行なう。

(第1日)28日(火)午前：課題論文/午後：自由論文/(第2日)29日(水)午前：課題論文/午後：課題論文

課題論文は別途依頼するものとし、本会告にもとづく論文は、自由論文として扱う。自由論文の講演時間は、応募数により、1題当たり15分程度となることもあり得る。

(3) 論文の募集

1) 論文の内容：岩盤力学に関するもの(論文は最近の研究に属するものが望ましいが既発表のものを含んで差支えない)

2) 応募の方法：

- a. 論文提出希望者は、6月30日までに所属学会、氏名、勤務先、職名、連絡先を明記のうえ、邦文800字以内の内容梗概を所属学会または今回の幹事会である土木学会(東京都新宿区四谷1丁目)に提出する。 b. シンポジウム運営委員会は論文の採否を7月15日までは決定し、すみやかに応募者に通知する。 c. 採択された論文著者は9月30日までつぎの体裁を整えた原稿を所属学会または幹事学会に提出する。

3) 論文の体裁：

- a. 用語は日本語とする。 b. 著者は送付された所定の用紙5枚(図表、写真を含む)にタイプする。別にタイプ用紙1枚にタイプした英文の内容梗概をつける。 c. タイプの要領等は執筆者に送付する原稿用紙に添付する執筆要項により、オフセット印刷に適するよう黒色を用いる。

4) 論文の取扱い：

- a. 論文は前刷としてオフセット印刷し、希望者には実費頒布できるようにする。 b. 著者には論文1題に別刷50部を贈呈する。ただし50部以上の増刷りは原則として行なわない。

第5回 接着研究発表会

◀ 6月7日(水)~8日(木) ▶

主 催：土木学会、ほか関係14学協会 協 賛：日本機械学会

1. 会 場：東京工業大学講堂(東京都目黒区大岡山 電話 726-1111)

2. 特別講演数：2題

3. 一般研究発表数：38件

4. 参 加 料：500円(講演要旨集を含む)当日会場にて受付

5. 懇 親 会：6月7日(水)18.00 会場未定

6. 連 絡 先：日本接着協会関東支部(東京都目黒区大岡山 東京工業大学高分子工学科畑研究室内、電話 東京 726-1111)
または、日本接着協会事務局(大阪市西区江之子島 大阪府立工業奨励館内 電話 大阪 441-4755)

日本独特の焼成法によるアルミナセメント討論会

◀ 5月18日(木) ▶

共 催：土木学会コンクリート委員会・窯業協会セメント部会
 日 時：1967年5月18日(木) 13.40~17.00
 場 所：土木学会土木図書館講堂(東京都新宿区四谷一丁目)
 内 容：①回転窯焼成による大村アルミナセメントについて
 ②電化アルミナセメント製造について
 ③焼成法アルミナセメント(アサノアルミナセメント)について

大村耐火 白石清吾・小野田セメント 竹本国博
 電気化学工業 岡田研一
 日本セメント 杉浦孝三

中部支部行事案内 (名古屋市中区南大津通り 2-5 中部電力(株)土木部内 電 名古屋 24-1581)

(1) 講習会「水理学・水文学における最近の進歩」 ◀ 6月14日(水)~15日(木) ▶

共催：土木学会中部支部・土木学会関西支部

1. 期 日：1967年6月14日(水), 15日(木)の両日
2. 場 所：愛知県産業貿易館4階ホール
3. 題目と講師：

第1日(6月14日)

開会の挨拶

土木学会中部支部長 渡 辺 時 也

(1) 河川工学

- 1.1 9.00~9.20 河川工学における最近の進歩
- 1.2 9.20~9.50 河川の汚濁
- 1.3 9.50~10.20 河川の乱れ
- 1.4 10.30~11.00 河口湖淡水化
- 1.5 11.00~11.30 洪水処理計画
- 1.6 11.30~12.00 グム下流の河床低下

- 名古屋大学教授 工博 西 畑 勇 夫
 神戸大学助教授 清水 進
 京都大学助教授 農修 余 越 正 一 郎
 京都大学助教授 農博 南
 京都大学助教授 工修 長 尾 正 志
 岐阜大学助教授 MS 河 村 三 郎

(2) 水理学

- 2.1 13.00~13.20 水理学における最近の進歩
- 2.2 13.20~13.50 不等流の差分計算
- 2.3 13.50~14.20 弯曲部の流れ
- 2.4 14.30~15.00 開水路流れにおける乱流拡散過程
- 2.5 15.00~15.30 ジェット流
- 2.6 15.30~16.00 開水路分流の水理
- 16.00~17.00 質疑応答

- 名古屋大学教授 工博 足 立 昭 平
 名古屋大学教授 工博 足 立 昭 平
 京都大学助教授 工博 村 本 嘉 雄
 京都大学助教授 工博 今 本 博 健
 大阪大学講師 工博 村 岡 浩 爾
 京都大学助教授 工博 中 川 博 次

第2日(6月15日)

(3) 水文学

- 3.1 9.00~9.20 水文学における最近の進歩
- 3.2 9.20~9.50 洪水の流出
- 3.3 9.50~10.20 地下水流出
- 3.4 10.30~11.00 低平地の流出
- 3.5 11.00~11.30 土砂の流出
- 3.6 11.30~12.00 確率洪水の推定
- 13.00~13.30 特別講演

- 金沢大学助教授 工博 高 瀬 信 忠
 京都大学助教授 工博 高 棹 塚 馬
 京都大学講師 工修 高 木 不 折
 京都大学助教授 農修 豊 国 永 次
 京都大学助教授 工博 土 屋 義 人
 金沢大学助教授 工修 高 瀬 信 忠
 京都大学教授 工博 石 原 藤 次 郎

(4) 海岸工学

- 4.1 13.30~13.50 海岸工学における最近の進歩
- 海岸堤防に関する二、三の問題
- 4.2 13.50~14.20 湾内の流れ
- 4.3 14.30~15.00 海岸の模型実験
- 4.4 15.00~15.30 漂砂
- 15.30~16.30 質疑応答
- 閉会の挨拶

- 名古屋工業大学教授 工博 細 井 正 延
 名古屋工業大学教授 工博 細 井 正 延
 京都大学助教授 理博 樋 口 明 生
 京都大学助教授 工博 野 田 英 明
 大阪大学助教授 工博 樺 木 亨

土木学会中部支部幹事長 奥村徳太郎

4. 定 員：300名
5. 参 加 費：会 員 1500円(テキスト代を含む)ただし講習会当日は2000円となりますので、期限内に前納して下さい。
 非会員 2000円(テキスト代を含む)
6. 申 込 期 限：1967年6月3日(土)
7. 申 込 方 法：参加希望者は勤務先、連絡先、氏名および会員の種別を明記(様式随意)して上記参加費を添えて6月3日(土)までに学会中部支部へお申し込み下さい。
 ただし申込期限内でも定員に達した時は先着順で決めますから早く申し込んで下さい。
 参加者には参加証をお送りしますから当日は必ずご持参下さい。
 参加証のない人は入場をお断りします。

関西支部行事案内 (大阪市東成区中道元町1丁目149番地
電話 大阪 (06) 981-2510 振替口座 大阪 82599 番)

(1) 土木工学における動的現象の計測とデータ処理に関する講習会

最近土木工学の各分野で、不規則現象を含んだ複雑な動的現象の計測と解析が必要になっております。この講習会では動的現象の計測の基礎的な諸問題について、研究者、現場技術者などを対象にして解説を加えていただくものです。なお明年度この講習会に引きつづき公害振動と騒音に関する講習会が土木学会関西支部主催で行なわれる予定になっておりますが、これらの方面の基礎としてもこの講習会は有効なものと考えます。ふるってご参加下さい。

1. 期 日：1967年6月27日(火)、28日(水)の両日
2. 場 所：大阪科学技術センター8階大ホール 電 大阪(06)443-5321
大阪市西区靱1丁目118番地(地下鉄3号線信濃橋下車北へ150m靱公園北東角)

3. 題目と講師：

第1日(6月27日)

	開会挨拶		土木学会関西支部長	
① 9.30~11.00	精密測定における電子工学		新興通信工業(株)技術部長	青柳 鷹之介
② 11.00~12.30	アラログ測定とデジタル測定		ティアック(株)研究開発部長	工博 大岡 崇
③ 13.30~15.00	データ処理		工業技術院電気試験所主任研究官	工博 森 亮一
④ 15.10~16.40	動的現象の計測とスペクトル解析		京大工学部助教授	工博 土 岐 憲三

第2日(6月28日)

⑤ 9.30~11.00	風の計測と解析		京都大学教授防災研究所	工博 石 崎 凝 雄
			京都大学助教授防災研究所	工博 光 田 凝 雄
⑥ 11.00~12.30	波浪の計測と解析		京都大学教授防災研究所	工博 岩 垣 雄 一
⑦ 13.30~15.00	地盤振動の計測と解析		福井大学教授工学部	工博 鳥 海 勲
⑧ 15.10~16.40	交通流の計測と解析		防衛大学校助教授	工博 高 田 弘
	閉会挨拶		土木学会関西支部幹事長	

4. 定 員：300名
5. 参加費：会 員 1000円(テキスト代を含む)ただし講習会当日は1500円となりますので、期限内に前納して下さい。
非会員 1500円(テキスト代を含む)
6. 申込期限：1967年6月12日(月)
7. 申込方法：参加希望者は勤務先、連絡先、氏名および会員の種別を明記(様式随意)して上記参加費を添えて6月12日(月)までに土木学会関西支部へお申し込み下さい。
ただし申込期限内でも定員に達した時は先着順で決めますから早く申し込んで下さい。
参加者には参加証をお送りしますから当日は必ずご持参下さい。
参加証のない人は入場をお断りします。
(注) 都合により講師の順序に変更があるかもしれませんがご了承ください。
なお、本講習会第1日終了後別場のとおり若い会員対象の会員懇親パーティーを催しますから多数ご参加下さい。

(2) 会員懇親パーティー(第1回)

1. 日 時：1967年6月27日(火)17時よりの予定(上記(1)講習会第1日終了後)
2. 場 所：大阪科学技術センター8階小ホール 電 大阪(06)443-5321
大阪市西区靱1丁目118番地(地下鉄3号線信濃橋下車北へ150m靱公園北東角)
3. 参加資格：35才未満の土木学会会員
4. 参加費：200円
5. 定 員：100名
6. 申込期限：1967年6月12日(月)
7. 申込方法：参加希望者は勤務先、連絡先および氏名を明記して(様式随意)上記参加費200円を添えて6月12日(月)までに土木学会関西支部へお申し込み下さい。参加証をお送りします。

(付) テキスト頒布について

水理学・水文学における最近の進歩 頒価 1000円 送料 100円 構造工学 頒価 700円 送料 80円
 道路・交通工学における最近の諸問題 " 500円 " 60円 海外工学の進歩 " 700円 " 80円
 土木構造物の振動と安全性 " 1000円 " 80円 高速度計算機の土木工学への応用 " 500円 " 80円
 上記テキストご希望の方は頒価に送料を添えて土木学会関西支部(振替口座利用)へお申し込み下さい。

国際会議のお知らせ

(1) 第12回国際水理学会議

と き : 11 th-14 th September, 1967.

と ころ : Colorado State University, Fort Collins, Colorado, U.S.A.

主 題 : 1) River hydraulics, 2) Macroturbulence and stochastic processes in hydraulics, 3) Erosion and local scou
dounstream from hydraulic structures, 4) Microturbulent diffusion and dispersion

参 加 費 : member \$ 35.00, non-member \$ 45.00

見学旅行 : Sept. 14-20 にかけてコロイド, 米国西部, 北東部, 南東部の4コースに分かれて行なう。

(2) 国際水文学シンポジウム

と き : 6 th-8 th September, 1967.

と ころ : Colorado State University, Fort Collins, Colorado, U.S.A.

主 題 : 1) New ideas and scientific methods in deterministic hydrology, 2) New ideas and scientific methods in
stochastic hydrology, 3) Simultaneous application of scientific methods of deterministic and stochastic
hydrology

参 加 費 : \$ 20.00

注 : 上記(1), (2)の会議に出席される方々のため米国西海岸までの団体割引旅行を予定しております。くわしい
情報をご希望の方は, 岩佐義朗教授(京都大学土木工学教室)あてご連絡下さい。

(3) Eleventh Conference on Coastal Engineering

第11回海岸工学会議は1968年9月16~20日の間, London市のイギリス土木学会(Institution of Civil
Engineers)会議室において開催される予定です。この会議はイギリス土木学会, Wallingfordの水理研究所
(Hydraulics Research Station), アメリカ土木学会海岸工学研究評議会(ASCE Coastal Engineering Research
Council)の共催となります。論文発表を予定される方は, 1ページの論文要旨(英語または仏語)4部を下記に直
接郵送して下さい。また国内での参考資料としますので, さらに1部を土木学会海岸工学委員会宛郵送して下さい。

Professor J.W. Johnson

Secretary, ASCE Coastal Engineering Research Council

412 Hesse Hall, University of California

Berkeley, California 94720, U.S.A.

なお第10回海岸工学会議の議事録(Proc. of the 10th Conference on Coastal Engineering)は, アメリカ土
木学会より発行されました。入手希望の方は下記宛直接に, あるいは外国書取扱店を介して注文して下さい。定価は
U.S. \$12.00です。

Manager, Technical Publications

American Society of Civil Engineers

United Engineering Center,

345 East 47th Street, New York

New York 10017, U.S.A.

国際水工学・国際衛生工学コース

(International Courses in Hydraulic and Sanitary Engineering)

毎年オランダにおいて, 開催されている上記コースの案内が来ております。くわしくは, 土木学会編集課までご連
絡下さい。

会 期 : 1967年10月19日~1968年9月7日

主 催 : Delft Technological University & Netherlands Universities Foundation